

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE建築(新築)_2016(v1.0)

1 建物概要

建物名称	(仮称)ダイレックス相生店 新築工事	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★
------	--------------------	-----	-----	--------	----	----

2 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.2 /5		ふつう
2 地球温暖化対策の推進	2.4 /5		がんばろう
3 豊かな自然環境の確保	1.6 /5		がんばろう
4 高齢社会への対応	3.0 /5		ふつう

※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル:	CASBEE-建築(新築) 2014年版	使用CASBEE評価ソフト:	CASBEE-BD_NC_2014v2.0
1 循環型社会への貢献		スコア平均 3.2	
リサイクルに関する配慮 LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 2.9	長寿命化に関する配慮 Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数 Q2/ 3 対応性・更新性	スコア 3.2 スコア 3.6
<自由記述>		<自由記述>	
2 地球温暖化対策の推進		スコア平均 2.5	
省エネ・省資源に関する配慮 LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 3.9	節水に関する配慮 LR2/ 1.1 節水	スコア 1
<自由記述>		<自由記述>	
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均 1.7	
生態系保全に関する配慮 Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 1	緑化に関する配慮 Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上 LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 1 スコア 3
<自由記述>		<自由記述>	
4 高齢社会への対応		スコア平均 3.0	
バリアフリーに関する配慮 Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 3	主な指標 建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級 0.82 建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅: BEI値、住宅: - 0.74 外構緑化指数 0 % 建物緑化指数 0 %	
<自由記述>			

: 入力欄

: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ダイレックス相生店 新築工事	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市八幡西区相生町8番	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	25 人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2018年3月12日
敷地面積	4,168 m ²	作成者	上村 祐茄
建築面積	2,515 m ²	確認日	2018年3月13日
延床面積	2,414 m ²	確認者	伊東 正太郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: 30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 76%
③上記+②以外の: 76%
④上記+: 76%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.3
Q2 サービス性能: 3.2
Q3 室外環境(敷地内): 1.5
LR1 エネルギー: 3.8
LR2 資源・マテリアル: 2.9
LR3 敷地外環境: 3.4

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.3)

Q のスコア = 2.3

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.2)

Q のスコア = 2.3

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 1.5)

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.8)

LR のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.9)

LR のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.4)

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地の周囲は道路に囲まれており、道路を挟んで周囲の住宅との距離に配慮し、騒音と建物の圧迫感がないよう外壁を白色とした。	その他 特になし
Q1 室内環境	F☆☆☆☆建材を使用、全館禁煙とし施設内の空気管理に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境を考えて、外灯の照明を検討し配置した。
LR1 エネルギー	照明機器は照明度の良いものを使用した。また、ガラスは高反射ガラスを使用し、遮熱性を高めた。	LR3 敷地外環境 適切な駐車場と駐輪場を計画し、屋上に駐車スペースを計画した。また、出入り口付近の車両の軌跡検討を行い、周辺の交通負荷軽減に配慮した。
Q2 サービス性能	屋上に駐車場を設けた。階段にゆとりを持たせ、EVを設けた。又、多目的トイレ、授乳室を設けた。	
LR2 資源・マテリアル	断熱材は全てノンフロンとした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版
(仮称)ダイレックス相生店 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.3
Q1 室内環境			0.40					2.3
1 音環境		2.2	0.15					2.2
1.1 騒音	売場:50dB	4.0	0.40					
1.2 遮音		1.0	0.40					
1 開口部遮音性能		1.0	1.00					
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		1.8	0.35					1.8
2.1 室温制御		2.6	0.50					
1 室温		3.0	0.50					
2 外皮性能		1.0	0.17					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
3 光・視環境		3.0	0.25					3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50					
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	1.00					
3.2 グレア対策								
1 昼光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御		3.0	0.50					
4 空気質環境		2.7	0.25					2.7
4.1 発生源対策		3.0	0.50					
1 化学汚染物質		3.0	1.00					
4.2 換気		2.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.50					
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50					
2 喫煙の制御	全館禁煙、外部に喫煙スペース有り	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.2
1 機能性		3.1	0.40					3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30					
1 広さ感・景観	売場天井高:3.95m	5.0	0.33					
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		3.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	②③トイレ:エポキシ塗装、セラミックタイル 休憩室:長尺シート	4.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30					2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	ガルバリウム鋼板:25年	4.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			2.4	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.6	0.30		-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	1階階高:5.79m R階(水下)階高:3.095m 平均階高:4.44m	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.098	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	1.5
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30		-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm 0.82	4.8	0.20		-	4.8
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化			4.0	0.50		-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEIm 0.74	4.0	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)						-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1 モニタリング						-	
4.2 運用管理体制						-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	2.9
1 水資源保護			2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60		-	2.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		ハンプロン	5.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.4
1 地球温暖化への配慮		省エネ設備の導入	3.9	0.33		-	3.9
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			-	-		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
3 交通負荷抑制		I 1) II 1) 自転車・自動車置場確保 2) 荷捌スペース確保 3) 屋上駐車場	5.0	0.33		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	1.00		-	
2 振動			-	-		-	
3 悪臭			-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制						-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドライン、配慮事項の過半を満たす	5.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	